

提供日 2024/04/26
タイトル マダニに咬まれないように注意しましょう！（「日本紅斑熱」患者が確認されました）
担当 健康福祉部 医療局感染症対策課
連絡先 ふじのくに感染症管理センター
TEL 055-928-7220



－危機管理情報－

マダニに咬まれないように注意しましょう！
～今年県内2例目の「日本紅斑熱」患者が確認されました～

1 要旨

県内で今年2例目の日本紅斑熱患者が確認されました。野外でのマダニ対策を十分行うようお願いいたします。

2 患者概要

中部保健所管内在住の50歳代女性

<経緯>

- 4月16日頃から発熱、頭痛、全身倦怠感、4月19日から発疹の症状
- 4月20日 中部保健所管内の医療機関を受診
- 4月22日 症状が改善しないため、中部保健所管内の別の医療機関を受診、入院
マダニに咬まれた直後は自覚なし、左足のふくらはぎにマダニの刺し口あり、広範囲の発疹があり、マダニが媒介する感染症の疑い → 県環境衛生科学研究所で検査を実施
- 4月24日 日本紅斑熱の病原体遺伝子が検出→「日本紅斑熱」確認

畑で作業を行っていたことから、作業中に、日本紅斑熱の病原体を保有するマダニに咬まれたことにより感染したと推定されます。なお、患者は現在も入院中ですが、すでに快方に向かっています。

3 マダニが媒介する主な感染症

(1) 日本紅斑熱

- 日本紅斑熱リケッチアという病原体を保有するマダニに咬まれることで感染し、人から人へ感染して広がるものではありません。
- マダニに咬まれてから、2日から8日の潜伏期間の後、高熱、発疹が現れ、重症化した場合には、死に至ることもあります。
- 県内では、過去5年で、年間5～10例、今回報告例を含め40例（本年2例）が発生しており、そのうち死亡例が3例報告されています。

日本紅斑熱の最近の患者数（人）

令和6年は現時点の暫定値（）死亡事例再掲

年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
全国	318	421	487	460	501	11
静岡県	10(1)	8	8(1)	5	7(1)	2

(2) 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

- 感染経路は、SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることが中心ですが、血液等の患者体液との接触や、マダニに咬まれSFTSウイルスに感染している犬や猫の体液から感染することも報告されています。
- マダニに咬まれてから、6日から14日の潜伏期間の後、発熱、消化器症状などが現れ、重症化した場合には死に至ることもあります。
- 県内では令和3年以降、年間4～6例、計13例発生しており、死亡例はありません。本年は、これまでに発生がありません。

SFTSの最近の患者数 (人)

令和6年は現時点の暫定値 () 死亡事例再掲

年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
全国	101	78	110	118	134	20
静岡県	0	0	4	6	3	0

4 県民の皆様へ

(1) マダニに咬まれないようにしましょう！

- 特にマダニの活動が盛んな、春から秋にかけて注意が必要です。
- 野山や草むら、畑などに入る場合は、耳を覆う帽子、首に巻くタオル、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしてください。
- マダニ用に市販されている忌避剤はありますが、マダニの付着を完全に防ぐことはできませんので、他の防護手段と組み合わせて対策を取りましょう。

(2) 屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認しましょう！

- マダニに咬まれた場合は、数日間、体調の変化に注意しましょう。
- 発熱・発疹の症状が見られたら、早めに医療機関を受診し、マダニに咬まれた可能性があることを医師に伝えましょう。

(3) ペットに付着して、マダニが家の中に入ってくることもあります！

- 飼育している犬や猫にもダニ駆除剤を使用しましょう。
- 飼育している動物の健康状態の変化に注意し、動物が体調不良の際には、咬まれたりなめられたりしないようにして、動物病院を受診して下さい。

(4) 野生動物との接触にも注意しましょう！

- 野生動物にマダニが付着していることもあります。
- 野生動物はどのような病原体を保有しているか分かりません。野生動物との接触は避けてください。また、動物の死体等に接触することは控えましょう。
- 動物に触ったら必ず手を洗いましょう。

5 県内の日本紅斑熱の患者数（令和6年は現時点の暫定）

本県では、平成12年以降、54名の患者が届出されており、うち7名が亡くなっています（表中の※の方）。

年次	全国	静岡県 ()内は死亡患者 数再掲	患者 性別・年代・住所地・発生月
平成12年 (2000年)	38	1	1.男・60歳代・沼津市・9月
平成25年 (2013年)	175	1	1.女・60歳代・伊豆の国市・7月
平成27年 (2015年)	215	2(1)	1.男・60歳代・沼津市・8月 2.女・70歳代・伊豆の国市・6月※
平成28年 (2016年)	277	2(1)	1.男・70歳代・伊東市・11月 2.女・70歳代・沼津市・5月※
平成29年 (2017年)	337	6(2)	1.女・80歳代・熱海市・6月 2.男・50歳代・伊豆の国市・9月 3.女・70歳代・沼津市・9月※ 4.男・70歳代・沼津市・9月 5.女・80歳代・沼津市・9月※ 6.女・70歳代・沼津市・10月
平成30年 (2018年)	305	3	1.男・50歳代・三島市・3月 2.男・70歳代・伊東市・8月 3.女・70歳代・伊東市・10月
令和元年 (2019年)	318	10(1)	1.男・70歳代・神奈川県湯河原町・5月 2.女・70歳代・熱海市・5月 3.女・50歳代・県西部地区・6月 4.女・70歳代・伊豆の国市・7月※ 5.女・70歳代・熱海市・7月 6.女・40歳代・掛川市・9月 7.男・60歳代・熱海市・10月 8.女・70歳代・駿東郡清水町・10月 9.男・20歳代・伊東市・10月 10.女・70歳代・浜松市・11月
令和2年 (2020年)	421	8	1.女・70歳代・熱海市・5月 2.男・50歳代・熱海市・5月 3.女・90歳代・熱海市・7月 4.女・90歳代・南伊豆町・7月 5.男・70歳代・県外・8月 6.男・70歳代・熱海市・9月 7.女・70歳代・湖西市・10月 8.女・80歳代・熱海市・10月
令和3年 (2021年)	487	8(1)	1.女・70歳代・県外・5月 2.男・10歳代・沼津市・6月 3.女・80歳代・伊東市・7月※ 4.女・30歳代・県外・8月 5.男・70歳代・県外・8月 6.男・60歳代・牧之原市・9月 7.男・40歳代・県外・10月 8.男・70歳代・伊東市・10月
令和4年 (2022年)	460	5	1.男・20歳代・賀茂保健所管内・6月 2.女・70歳代・熱海保健所管内・6月 3.男・80歳代・熱海保健所管内・8月 4.女・70歳代・熱海保健所管内・8月 5.女・70歳代・熱海市・9月
令和5年 (2023年)	501	7(1)	1.女・70歳代・静岡市・6月 2.女・70歳代・静岡市・6月 3.男・60歳代・熱海保健所管内・7月 4.男・30歳代・中部保健所管内・7月 5.男・50歳代・西部保健所管内・7月 6.女・70歳代・西部保健所管内・10月 7.女・70歳代・熱海保健所管内・10月※
令和6年 (2024年)	11	2	1.女・60歳代・中部保健所管内・4月 2.女・50歳代・中部保健所管内・4月

参考：全国では1999年4月～2019年12月に報告された3,108例中44例の患者が届出時点で亡くなっている。